



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 アイカ工業株式会社  
コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 勇治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 百々 聡

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	68,561	5.9	7,508	15.6	7,665	15.1	4,360	13.0
23年3月期第3四半期	64,767	9.4	6,494	26.0	6,657	24.7	3,860	27.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,723百万円 (6.8%) 23年3月期第3四半期 3,486百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	66.83	66.79
23年3月期第3四半期	59.17	59.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	96,918	73,795	75.4
23年3月期	94,638	72,124	75.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 73,037百万円 23年3月期 71,459百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
24年3月期	—	17.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の中間配当金17.00円には2円の記念配当を含んでおります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	6.5	10,400	12.0	10,600	12.2	5,900	8.9	90.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Aica Laminates India Private Ltd. 、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	67,590,664 株	23年3月期	69,890,664 株
24年3月期3Q	2,337,826 株	23年3月期	4,637,315 株
24年3月期3Q	65,253,109 株	23年3月期3Q	65,249,589 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短針(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故により落ち込んでいた生産や個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、欧州の財政・金融不安と新興国経済の成長鈍化による海外需要の減退懸念に加えて、円高の継続とタイの洪水被害などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、住宅市場においては住宅エコポイント終了時に一時的な着工数の減少はありましたが通期では前年に比べて増加基調であり、非住宅市場においても医療・福祉施設や公共物件を中心に堅調に推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、災害リスクの分散とコスト低減に向けた生産拠点の最適化、顧客に密着した営業活動の強化、海外拠点拡大による海外市場への取組強化、市場ニーズにマッチした新商品開発を推進いたしました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高68,561百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益7,508百万円（前年同四半期比15.6%増）、経常利益7,665百万円（前年同四半期比15.1%増）、四半期純利益4,360百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、木工用・建築施工用接着剤が底堅く推移したことに加えて、自動車・太陽電池向け接着剤が売上を伸ばすことができました。樹脂系商品は、東日本大震災の復旧および耐震化需要の高まりを受け、コンクリート補修用エポキシ樹脂「ジョリシール」を中心に順調に推移いたしました。また、有機微粒子は、化粧品用途を中心とした国内市場向け売上が堅調に推移いたしました。

しかしながら、原材料価格上昇の影響により収益が圧迫され、営業利益は前年と比べ減少いたしました。

このような結果、売上高は24,228百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,607百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

#### (建装材セグメント)

建装材商品は、指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つ高意匠メラミン化粧板「セルサス」や耐摩耗性・耐汚染性など機能に優れる化粧ボード「マーレスボード」など特徴のある商品が市場で評価されたことや、メラミン化粧板・不燃化粧材・フィルムシート材・周辺部材等を同一柄でコーディネートできる利便性を訴求し、壁面から家具まで内装仕上げのトータル受注を強化したことにより、売上を伸ばすことができました。また、インドにおける化粧板事業の買収などにより、海外における売上も増加いたしました。

このような結果、売上高は17,747百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）3,446百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

#### (住器建材セグメント)

不燃化粧材「アイカセラー」は、浴室や腰壁用途が伸びたことにより、売上は堅調に推移いたしました。インテリア建材は、トレンド柄を活かした「マーレス クラスSシリーズ」のほか、多彩なコーディネートができる収納家具「アイキャビ」や医療福祉施設向けの機能引き戸「UDコンフォートシリーズ」が好調に推移いたしました。また、メラミン化粧板の曲面加工商品であるポストフォームは、キッチン周りに加えて医療・福祉・教育施設向けに売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は22,088百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）3,431百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

(電子セグメント)

主力のプリント配線板は、東日本大震災の影響により低迷していたパターン設計の新規開発品が前年並みに回復いたしました。円高の影響による輸出製品の低迷や設備投資抑制による在庫調整の影響等で売上は減少いたしました。電子材料は、タッチパネル用ハードコートフィルムやフィルムコーティング用UV樹脂が好調に推移いたしました。

このような結果、売上高は4,496百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)453百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,279百万円(2.4%)増加し、96,918百万円となりました。主な資産の増減は「受取手形及び売掛金」が1,822百万円、「商品及び製品」が872百万円増加したこと、「現金及び預金」が857百万円減少したことなどによるものであります。負債は前連結会計年度末に比べ608百万円(2.7%)増加し、23,123百万円となりました。主な負債の増減は「支払手形及び買掛金」が2,301百万円増加したこと、「未払法人税等」が1,468百万円減少、「賞与引当金」が616百万円減少したことなどによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,670百万円(2.3%)増加し、73,795百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」が4,360百万円となったこと、剰余金の配当を実施したことによる2,218百万円の減少及び「その他有価証券評価差額金」が380百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し、75.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成23年4月28日に公表した業績予想を上回る見込みであることから下記のとおり修正いたします。

景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

平成24年3月期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	95,000	9,500	9,700	5,600	85.82
今回発表予想(B)	95,000	10,400	10,600	5,900	90.42
増減額(B - A)		900	900	300	4.60
増減率(%)		9.5%	9.3%	5.4%	5.4%
(ご参考)前期実績	89,216	9,286	9,447	5,417	83.02

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

The Bombay Burmah Trading Corporation Ltd.(所在地:インド共和国)の化粧板事業を譲受ける目的でAica Laminates India Private Ltd.(以下、「ALI」)を設立し、平成23年10月31日付けで事業譲渡が実行されたため、当第3四半期連結会計期間よりALIを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,510	27,653
受取手形及び売掛金	32,647	34,469
商品及び製品	3,176	4,049
仕掛品	288	319
原材料及び貯蔵品	1,566	1,928
その他	2,507	2,188
貸倒引当金	135	161
流動資産合計	68,562	70,447
固定資産		
有形固定資産	16,668	16,721
無形固定資産	766	703
投資その他の資産		
その他	9,164	9,568
貸倒引当金	522	521
投資その他の資産合計	8,641	9,046
固定資産合計	26,076	26,471
資産合計	94,638	96,918
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,657	16,958
短期借入金	329	302
未払法人税等	2,079	610
賞与引当金	1,272	655
その他	2,441	2,977
流動負債合計	20,779	21,504
固定負債		
長期借入金	709	590
退職給付引当金	286	258
その他	738	769
固定負債合計	1,734	1,618
負債合計	22,514	23,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,780	13,269
利益剰余金	52,325	52,982
自己株式	4,763	2,660
株主資本合計	71,234	73,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	167
繰延ヘッジ損益	11	5
為替換算調整勘定	335	607
その他の包括利益累計額合計	224	445
新株予約権	19	27
少数株主持分	646	730
純資産合計	72,124	73,795
負債純資産合計	94,638	96,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	64,767	68,561
売上原価	46,529	49,285
売上総利益	18,238	19,275
販売費及び一般管理費	11,743	11,767
営業利益	6,494	7,508
営業外収益		
受取利息	30	26
受取配当金	154	142
設備賃貸料	59	78
その他	117	136
営業外収益合計	362	384
営業外費用		
支払利息	9	8
売上割引	50	59
減価償却費	50	49
その他	88	110
営業外費用合計	198	228
経常利益	6,657	7,665
特別利益		
固定資産売却益	103	7
投資有価証券売却益	26	3
その他	2	2
特別利益合計	132	13
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98	-
投資有価証券評価損	100	90
調査費用	-	60
その他	65	27
特別損失合計	265	178
税金等調整前四半期純利益	6,524	7,500
法人税、住民税及び事業税	2,247	2,457
法人税等調整額	337	603
法人税等合計	2,585	3,060
少数株主損益調整前四半期純利益	3,939	4,439
少数株主利益	78	78
四半期純利益	3,860	4,360

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,939	4,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	380
繰延ヘッジ損益	12	17
為替換算調整勘定	168	317
その他の包括利益合計	453	715
四半期包括利益	3,486	3,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,467	3,690
少数株主に係る四半期包括利益	18	33

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,469	16,589	20,320	4,387	64,767	-	64,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,638	1,054	-	-	2,692	2,692	-
計	25,108	17,643	20,320	4,387	67,460	2,692	64,767
セグメント利益	1,780	2,833	2,843	425	7,882	1,388	6,494

(注) 1 セグメント利益の調整額 1,388百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,390百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,228	17,747	22,088	4,496	68,561	-	68,561
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,742	1,345	-	-	3,088	3,088	-
計	25,970	19,093	22,088	4,496	71,649	3,088	68,561
セグメント利益	1,607	3,446	3,431	453	8,939	1,430	7,508

(注) 1 セグメント利益の調整額 1,430百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,432百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

( 6 ) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。